

令和8年度

小規模崩壊地復旧事業

高田地区

復旧工事 仕 様 書

事業主体 広島県庄原市

施行箇所 庄原市総領町亀谷（岡田宅裏）

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、高田地区復旧工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和7年8月 広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
 - ※ 土木工事共通仕様書は、「広島県の調達情報」に掲載されている。 <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・その他関連規格類

第2節 適用除外

- 本工事では、土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）における下記の項目については適用しない。
- ・ 1-1-2-14 施工管理 1. 標示板の設置
 - ・ 1-1-3-7 契約後VE工事
 - ・ 1-1-3-9 県産木材の活用
 - ・ 3-1-1-7 工事完成図書の納品 6. 地質調査の電子成果品等

第3節 用語等の読みかえ

土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）に規定されている用語等については次のとおり読みかえる。

土木工事共通仕様書に規定されている用語等		特記仕様書第1章総則で読みかえる用語等	
1-1-1-2 用語の定義	6. 設計図書	工事数量総括表	本工事費内訳書
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事監督規程	庄原市建設工事監督規程
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事検査規程	庄原市建設工事検査規程
1-1-2-2 用語の定義	1. 監督職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-2 用語の定義	2. 総括監督員	広島県契約規則（昭和39年4月1日規則第32号）	庄原市契約規則（平成17年3月31日規則第47号）
1-1-2-2 用語の定義	4. 技術検査	土木工事検査技術基準	庄原市建設工事検査基準
1-1-2-2 用語の定義	5. 検査職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-5 工事の下請負	1. 下請負者の資格	広島県の建設工事入札参加資格	庄原市の建設工事入札参加資格
1-1-2-5 工事の下請負	2. 指名除外	広島県の「建設業者等指名除外要綱」の指名停止	庄原市建設業者指名除外基準要綱の指名除外
1-1-2-5 工事の下請負	5. 下請け	広島県内	庄原市内
1-1-2-5 工事の下請負	6. 県外業者を下請業者とする場合の理由書	県外	市外

第4節 現場代理人の兼務

- 1 受注者は、請負代金額が4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満に該当することにより現場代理人の工事現場への常駐を要しないこととされた場合であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場に

おける現場代理人又は技術者等との兼務を申請することができる。

ただし、令和7年4月3日付「災害復旧工事における特例措置」の期間にあっては、兼務制限の件数から災害復旧工事を除くこととする。

- (1) 兼務する工事が公共工事であり、庄原市内の工事であること
 - (2) 兼務する工事件数が本件工事を含め3件（災害復旧工事に係る件数を除く）以内であること
 - (3) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること
 - (4) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 2 受注者は、前項に掲げるほか、密接に関係のある他の公共工事（建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条第2項が適用される工事として、同一の専任の主任技術者による工事の管理が認められたものに限る。）において現場代理人又は主任技術者として配置されている期間であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。
- (1) 同一の主任技術者による管理が認められた公共工事であること
 - (2) 兼務する工事件数が本件工事を含め2件以内であること
 - (3) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、兼務の承認を取消すものとする。
- (1) 兼務に関する事項で、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (2) 著しい状況の変化により、兼務をすることが適当でなくなったとき
 - (3) その他、発注者の判断で兼務をすることが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。

第 5 節 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者

- 1 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の配置要件の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」によらず、次のとおり取り扱う。
- 一般土木工事（建築一式工事以外）の契約約款第10条第1項第2号の規定により配置する主任技術者又は監理技術者は次によるものとする。
- (1) 下請契約金額の総額が 5,000万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合は、監理技術者を配置する。
 - (2) 請負代金額 4,500万円以上の場合、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について技術者を専任配置する。
 - (3) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について配置する技術者が、兼務する工事件数（請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満）は、この工事を含めて3件までとする。
 - (4) 請負金額が 4,500万円以上 1億円未満の工事で建設業法施行令第27条第2項が適用される工事にあつては、主任技術者が兼務できる工事件数は、この工事を含めて2件以内とする。
- 2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の誓約書の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「6. 誓約書」によらず、次のとおり取り扱う。
- 「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」には、次の各号に定める誓約書を添付しなければならない。
- (1) 請負代金額が 4,500万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、他の工事の主任技術者又は監理技術者として配置していない旨の誓約書。

- (2) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合
 配置する主任技術者又は監理技術者について、次の〔1〕又は〔2〕に掲げる主任技術者又は監理技術者若しくは現場代理人として現在3件（本件工事は含まない。）以上の工事に配置していない旨の誓約書。
 〔1〕 500万円以上 4,500万円未満（建築一式工事については、1,500万円以上 9,000万円未満）の建設工事の主任技術者又は監理技術者
 〔2〕 災害復旧工事以外の工事の現場代理人

第 6 節 情報共有システム

本工事は、受注者からの申し出により監督員が承諾した場合に限り、情報共有システムを利用することができる。なお、利用することとなった場合には土木工事共通仕様書 1-1-1-26 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第 7 節 工事現場の現場環境改善費

本工事は、現場環境改善及び地域連携に資する経費に関して、設計計上を行っており、実施については土木工事共通仕様書 1-1-3-10 工事現場の環境改善等に従うこと。

第 8 節 工事関係書類の事前協議（情報共有システム利用工事に限る。）

受注者は、「土木工事書類作成マニュアル（案）令和2年11月（令和7年8月改定）広島県」に記載のある「2 工事関係書類一覧」に基づき、工事着手前に、工事書類の電子又は紙による提出又は提示方法を監督員と事前協議し決定する。ただし、出来形管理図表・品質管理表・工事写真の提出又は提示方法については、紙に変更できるものとする。

第 9 節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第 2 章 材 料

第 1 節 寒中コンクリート

当該工事における次の対象構造物は寒中コンクリートとして施工し、次のとおり取り扱うこと。

- 1 対象構造物

令和 8 年 12 月 1 日から 令和 9 年 2 月 28 日 までの期間に施工するコンクリート構造物。
 ただし、ダムコンクリート（砂防ダムを除く）、トンネル坑内、場所打ちコンクリート杭、均しコンクリートは除く。
- 2 養生方法

養生方法は給熱養生を標準とし、詳細については監督職員と協議すること。

3 打設数量の確認

対象構造物のコンクリート打設数量については、施工後、打設図等の数量確認資料を作成し監督職員へ提出すること。

第 3 章 施工条件

第 1 節 工事用道路

1 仮設道路

安全施設	出入口に柵を設置すること。
工事後の処置	原形復旧
維持管理内容	粉じん防止の散水（随時）、路面補修のための補修材を必要とする場合は別途協議すること。

第 2 節 建設副産物

1 建設発生土 [搬出] (ストックヤード) (指定処分 (A))

当該工事により発生する建設発生土は、次の指定地に搬出するものとする。

搬出場所 **庄原市総領町亀谷982-2付近の建設発生土処分地。**

建設条件 **搬入量・搬入状況が確認できる資料を提出すること。**

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定により難しい場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする

第 4 章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
- 2 事前に関係河川漁協と協議を行い、同意等の承諾を得ること。
- 3 本工事における濁水の影響が想定される場合は、監督職員と協議すること。

工 事 概 要

工 事 名	高田地区 復旧工事						
施 行 箇 所	広島県 庄原市総領町亀谷 (岡田宅裏)						
工事概要	費目工種	工 種	種 別 ・ 細 別	数 量		単 位	摘 要
				当初	変更		
	山腹工						
		治山土工	残土処理工	100.0		m3	
		法切工	法切工	30.0		m3	
		法面工	植生工	64.0		m2	
			法枠工	160.6		m2	
	仮設工	銘板工	銘板工	1.0		枚	
	仮設工	防護施設工	18.0		m		
		仮設道	11.9		m		

令和 7 年度

高田地区復旧工事

庄原市総領町亀谷

地内

工 事 価 格

消 費 税 相 当 額

工 事 費 計

積算情報

工事名	高田地区復旧工事		
執行年度	令和 7 年度	諸経費区分	林道 令和07年度
工種区分	治山・地すべり防止工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 8年 3月 1日付 林道	単価地区	52:庄原市(旧総領町)
機損適用年月日	令和 7年度 公共・林道	歩掛適用年月日	令和 7年10月 治山林道

補正情報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 …………… 補正無し 現場管理費 …………… 補正無し 現場環境改善費 …… 大都市・市街地以外
現場環境改善費	計上する
冬期補正	冬期補正無 (0.00 %)
緊急工事補正	緊急工事補正無
前払支出割合区分	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合

本 工 事 費 内 訳 書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
治山・地すべり防止工事02	1	式				
山腹工	1	式				
治山土工	1	式				
残土処理工 V=100m3	1	式				
積込(ルーズ) 崩土・土砂 小規模(標準以外)	100	m3			P 1号	
小型不整地運搬車運搬 加-ラ式 2.0t級 礫質土 機械荷卸し 運搬距離 127m	100	m3			施 2号	
掘削 小規模 土砂 標準以外 田面表土剥ぎ取り	75	m3			P 3号	
3 t級ブルドーザ敷均し(狭幅) 施工幅員 2.5m以上4m未満 表土敷均し 現場内	75	m3			施 4号	
3 t級ブルドーザ敷均し(狭幅) 施工幅員 2.5m以上4m未満 工事残土	100	m3			施 5号	
法切工	1	式				
法切工 V=30m3	1	式				
人力のり切 法切前の斜面勾配 60度未満	29	m3			施 6号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
掘削 小規模 土砂 標準以外	1	m3			P 7 号	
法面工	1	式				
植生工 A=64.0m2	1	式				
植生マット [規] 250m2未満	64	m2			明 8 号	
法枠工 A=161.0m2	1	式				
法面清掃工						
簡易法枠工	161	m2			施 9 号	
ラス張工						
簡易法枠工	161	m2			施 10 号	
鉄筋等設置工 H=150						
簡易法枠工	161	m2			施 11 号	
アンカー設置工(土砂の場合) 砂質土・礫混り土・玉石混り土						
簡易法枠工	84	本			単 12 号	
枠シート設置工						
簡易法枠工	161	m2			施 13 号	
法枠吹付工						
簡易法枠工	8.5	m3			施 14 号	
モルタル吹付工 枠内吹付有 厚5cm 施工規模100～250m2未満 時間制約無	90	m2			施 15 号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
銘板工	1	式				
銘板工 N=1枚	1	式				
林道名板 (A 型 ・ アルミ軽合金) 200 × 150 × 10mm	1	枚				
仮設工	1	式				
仮設工	1	式				
防護施設工 L=18.0m	1	式				
仮設防護柵工 H=1.5m ・ L=18.0m ・ A=27.0m ²	1	式			施 16 号	
仮設道 L=11.9m	1	式				
掘削 小規模 土砂 標準以外	13	m ³			P 7 号	
設置盛土 土砂 小規模(標準以外)	16	m ³			P 17 号	
大型土のう製作・設置 バックホウ据付	2	袋			施 18 号	
大型土のう撤去 バックホウ(クレーン機能付)	2	袋			施 19 号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	14	m3			P 20 号	
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
現場環境改善費率分	1	式				
純工事費	1	式				大都市・市街地以外
現場管理費	1	式				
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				
工事価格	1	式				金銭の保証を必要とする
消費税等相当額	1	式				

高田地区復旧工事

【 第 1 号 施工パッケージ 】							
積込(ルーズ) 崩土・土砂 小規模(標準以外)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			20.13				
小型バックホウ(クレー) [標準・排対:2次] 標準バックホウ 山積0.13m3 [平積0.10m3]			20.13				
【労務】			71.97				
運転手(特殊)			71.97				
【材料】			7.90				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			7.90				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 5	作業内容 小規模(標準以外)			

高田地区復旧工事

【 第 2 号 施工単価表 】						
小型不整地運搬車運搬 加-ラ式 2.0t級 礫質土 (機械荷卸し , 運搬距離 127m)						23.81 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
不整地運搬車運転(賃料) 加-ラ式 2.0t級 排対型:2次基準		日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 3 資材区分 礫質土		[B] = 5.300 min	積込時間(t1)			
[C] = 127.000 m 運搬距離		[D] = 2	荷卸し区分 機械荷卸し			
[I] = 3 不整地運搬車規格 加-ラ式 2.0t級		[x] = 3	不整地運搬車規格区分 排対型:2次基準			

高田地区復旧工事

【 第 3 号 施工パッケージ 】							
掘削 小規模 土砂 標準以外 (田面表土剥ぎ取り ,)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			20.13				
小型バ ックホ (ク-ラ) [標準・排対:2次] 標準バ ックホ 山積0.13m3 [平積0.10m3]			20.13				
【労務】			71.97				
運転手 (特殊)			71.97				
【材料】			7.90				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			7.90				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂 [J6] = 8 施工数量 標準以外				[J2] = 5 施工方法 上記以外 (小規模)			

高田地区復旧工事

【 第 4 号 施工単価表 】						
3 t級ブルドーザ敷均し(狭幅) 施工幅員 2.5m以上4m未満 表土敷均し (現場内 ,)						100 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員						
機械補助労務		人				
ブルドーザ運転 普通3t級 損料補正なし 排対型:1次基準		日				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [X] = 2 ブルドーザ規格区分 排対型:1次基準			[SF] = 2 山林砂防工(普通作業員) 普通作業員			

高田地区復旧工事

【 第 5 号 施工単価表 】						
3 t級ブルドーザ敷均し(狭幅) 施工幅員 2.5m以上4m未満 (工事残土 ,)						100 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員						
機械補助労務		人				
ブルドーザ運転 普通3t級 損料補正なし 排対型:1次基準		日				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件] [X] = 2 ブルドーザ規格区分 排対型:1次基準			[SF] = 2 山林砂防工(普通作業員) 普通作業員			

高田地区復旧工事

【 第 6 号 施工単価表 】

人力のり切 法切前の斜面勾配 60度未満

10 m3 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
諸雑費						
労務費の%		%				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 法切前の斜面勾配 60度未満			[SF] = 2 山林砂防工(普通作業員) 普通作業員			

高田地区復旧工事

【 第 7 号 施工パッケージ 】							
掘削 小規模 土砂 標準以外							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			20.13				
小型バックホウ(クレー) [標準・排対:2次] 標準バックホウ 山積0.13m3[平積0.10m3]			20.13				
【労務】			71.97				
運転手(特殊)			71.97				
【材料】			7.90				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			7.90				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂 [J6] = 8 施工数量 標準以外				[J2] = 5 施工方法 上記以外(小規模)			

高田地区復旧工事

【 第 9 号 施工単価表 】						
法面清掃工 (簡易法砕工 ,)						100 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
法面工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		人				
労務費の% 計		%				
単位当たり						
[条件] [SF] = 2 山林砂防工(普通作業員) 普通作業員						

高田地区復旧工事

【 第 10 号 施工単価表 】						
ラス張工 100 m2 当り (簡易法枠工 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
法面工		人				
普通作業員		人				
金網 菱形金網 2.0 網目50mm	140	m2				
アンカーピン 16mm L=400mm	30	本				
補助アンカーピン 9mm L=200mm	150	本				
発動発電機運転(賃料) タイプⅡ45kVA 排対型:3次基準		日				
諸雑費 労務費、発動発電機の% 計		%				
単位当たり						
[条件] [x] = 4 発動発電機規格区分 排対型:3次基準			[SF] = 2 山林砂防工(普通作業員) 普通作業員			

高田地区復旧工事

【 第 11 号 施工単価表 】						
鉄筋等設置工 H=150						
(簡易法枠工 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
法面工		人				
普通作業員		人				
簡易法枠組立枠 H = 1 5 0 W = 340 H = 140 L = 400	94	個				
異形棒鋼<JISG3112> SD295, D10 単位質量0.56kg/m	219.96	kg				
補助アンカー	49	本				
諸雑費						
労務費の%		%				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 2 規格区分 H=150			[B] = 1 部材 組立枠			
[C] = 94.000 個 部材数量			[D] = 0.188 t 鉄筋数量			
[E] = 49.000 本 補助アンカー数量			[y1] = 1 鉄筋径 SD295A 径10mm			
[SF] = 2 山林砂防工(普通作業員) 普通作業員						

高田地区復旧工事

【 第 12 号 単価表 】						
アンカー設置工(土砂の場合) 砂質土・礫混り土・玉石混り土						
(簡易法枠工 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
枠用主アンカー D16 長さ400～1000mm	100	本				
土木一般世話役		人				
法面工		人				
普通作業員		人				
諸雑費						
労務費の4% 計		%				
単位当たり						

高田地区復旧工事

【 第 13 号 施工単価表 】						
枠シート設置工 100 m2 当り (簡易法枠工 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面工		人				
枠用シート	42.4	m2				
諸雑費						
労務費の%		%				
計						
単位当たり						
[条件]						
[B] = 42.400 m2 枠用シート数量						

高田地区復旧工事

【 第 14 号 施工単価表 】						
法枠吹付工 (簡易法枠工 ,)						10 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
法面工		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	5.46	t				
コンクリート用砂 荒目(洗い)	16.12	m3				
補強繊維	13	kg				
モルタルコンクリート吹付機運転 湿式モーター駆動0.8~1.2m3/h		時間				
ホイールローダ運転(賃料) 0.34m3 排対型:1次基準		日				
諸雑費						
労務費の%		%				
計						
単位当たり						

高田地区復旧工事

【 第 15 号 施工単価表 】						
モルタル吹付工 枠内吹付有 厚5cm 施工規模100～250m2未満 (時間制約無 ,)						1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面工 モルタル吹付工 厚5cm 【材工共】	1	m2				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 吹付厚 厚5cm		[B] = 4	施工規模 施工規模100～250m2未満			
[C] = 1 時間制約 時間制約無		[F] = 2	枠内吹付区分 枠内吹付有			

高田地区復旧工事

【 第 16 号 施工単価表 】

仮設防護柵工 H=1.5m・L=18.0m・A=27.0m²

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
丸パイプ 48.6mm , L=1.5m	13	本				
丸パイプ 48.6mm , L=3.0m	18	本				
丸パイプ 48.6mm , L=1.0m	13	本				
自在クランプ 48.6用	52	個				
金網 菱形・亜鉛引 , 4mm × 50mm目	28.8	m ²				
シート 防火養生シート , 幅1.8m × 長さ5.4m	30	m ²				
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
普通作業員		人				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						

高田地区復旧工事

【 第 17 号 施工パッケージ 】							
設置盛土 土砂 小規模(標準以外)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			20.13				
小型バックホウ(クレー) [標準・排対:2次] 標準バックホウ 山積0.13m3[平積0.10m3]			20.13				
【労務】			71.97				
運転手(特殊)			71.97				
【材料】			7.90				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			7.90				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 5	作業内容 小規模(標準以外)			

高田地区復旧工事

【 第 18 号 施工単価表 】						
大型土のう製作・設置 バックホウ据付						10 袋 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
1t土のう 丸型,径110cm×長108cm	10	枚				
土砂 ほぐした土量	10	m3				
バックホウ運転(クレーン機能付き)(賃料) 加-型・後方超小旋回型 山0.45m3 2.9t吊 超低騒音・排対:2014規制		日				
諸雑費						
労務費の%		%				
計						
単位当たり						
[条件] [y1] = 1 大型土のう区分 1t土のう [SF] = 2 山林砂防工(普通作業員) 普通作業員			[x] = 5			バックホウ規格区分 超低騒音型・排対型:2014年規制

高田地区復旧工事

【 第 19 号 施工単価表 】						
大型土のう撤去 バックホウ(クレーン機能付)						10 袋 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付き)(賃料) 加-ラ型 山積0.8m3(平積0.6) 2.9t吊 排対型:1次基準		日				
諸雑費						
労務費の% 計		%				
単位当たり						
[条件] [A] = 1 使用機械 バックホウ(クレーン機能付)			[x1] = 2 バックホウ規格区分 排対型:1次基準			

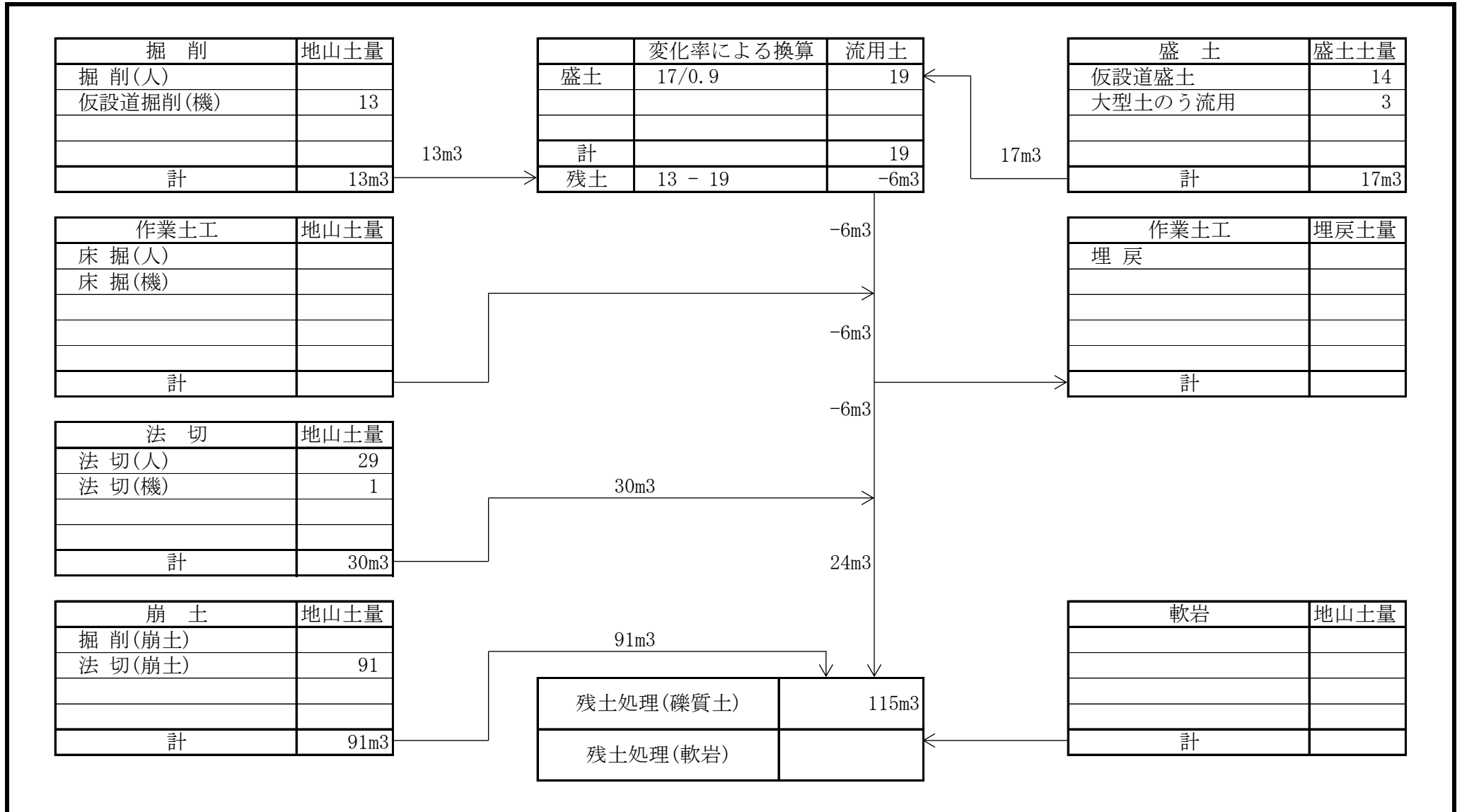
高田地区復旧工事

【 第 20 号 施工パッケージ 】							
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			20.13				
小型バックホウ(クロー) [標準・排対:2次] 標準バックホウ 山積0.13m3 [平積0.10m3]			20.13				
【労務】			71.97				
運転手(特殊)			71.97				
【材料】			7.90				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			7.90				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 5	作業内容 小規模(標準以外)			

数量総括表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4		数量	単位	備 考
山腹工	治山土工						
		残土処理工					土量配分表より
		積込	礫質土・崩土	法切(人力)	100	m3	バックホウ0.13m3積込(ルーズ) 土量配分表より 仮設道復旧 115 - (13/0.9) = 100m3
		運搬	礫質土		100	m3	小型不整地運搬車2.0t積L=127m
		残土処分	田面表土剥ぎ取り		75	m3	25×10×0.3=75m3 バックホウ0.13m3掘削積込(地山)
			表土敷均し	現場内	75	m3	ブルドーザ敷均し
			残土敷均し	工事残土	100	m3	ブルドーザ敷均し
	法切工						
		法切工					
		法切	人力	礫質土	29	m3	機械積込別途 バックホウ0.13m3積込(ルーズ)
		法切	機械	礫質土	1	m3	バックホウ0.13m3掘削積込(地山)
	法面工						
		伏工					
		植生マット		肥料袋付	64.0	m2	
		法枠工					
		簡易法枠工	法面清掃工		160.9	m2	
			ラス張工	#40 50×50mm	160.9	m2	
			鉄筋・組立枠設置工	H=150	160.9	m2	
			アンカー工(礫質土)	D16 L=750mm	84	本	160.9 / 100 × 52 = 84
			枠シート設置工	1,150×1,150mm	160.9	m2	

土量配分表



法切・法面工 数量計算表

測点名	距離 (m)	法切 機械・崩土				法切 人力・礫質土				法切 機械・礫質土			
		修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積
		(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m2)	(m2)	(m3)
No. 0			0.0				0.0						
No. 1	6.5	3.0	8.6	4.30	12.9	3.0	2.0	1.00	3.0				
No. 2-1	4.5		10.5	9.55	43.0		2.5	2.25	10.1				
No. 2-2		1.4	10.5	10.50	14.7	3.8	1.8	2.15	8.2		0.0		
No. 3	6.5		1.5	6.00	39.0		0.5	1.15	7.5		0.2	0.10	0.7
合計	17.5	109.60 /1.20= 91.3				28.8				0.7			
設計数量		91				29				1			

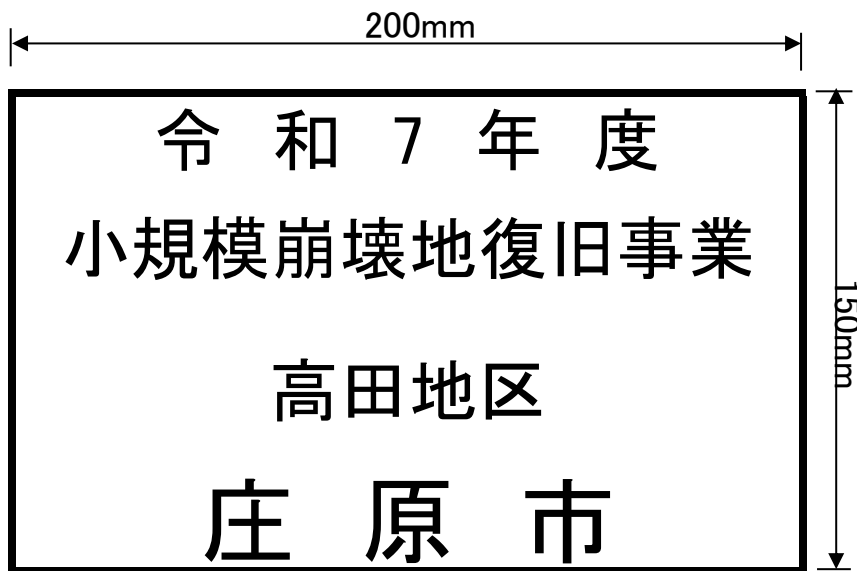
法枠工・吹付工 数量計算表

測点名	距離 (m)	法枠工 簡易吹付法枠				伏工 植生マット				修正距離 (m)	法長 (m)	平均 (m)	面積 (m2)
		修正距離	法長	平均	面積	修正距離	法長	平均	面積				
		(m)	(m)	(m)	(m2)	(m)	(m)	(m)	(m2)				
No. 0							6.0						
No. 1	6.5	0.0	13.6	6.80	0.0		13.7	9.85	64.0				
No. 2-1	4.5		13.2	13.40	60.3	0.0		6.85	0.0				
No. 2-2		3.0	13.3	13.25	39.8								
No. 3	6.5		5.4	9.35	60.8								
合計	17.5				160.9				64.0				
設計数量					160.9				64.0				

仮設工 数量計算表

測点名	距離 (m)	仮設道 機械・掘削				仮設道 機械・盛土				大型土のう作成(径110cm×長108cm) 機械・礫質土			
		修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積	個数	土量	平均	体積
		(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(個)			(m3)
No. 3			0.9				0.4				1.3		
+6.0	6.0		1.6	1.25	7.5		2.3	1.35	8.1	2	1.3	1.30	2.6
+11.0	5.0		0.4	1.00	5.0		0.0	1.15	5.8	0		0.65	0.0
		0.9	0.0	0.20	0.2								
合計	11.0				12.7				13.9				2.6
設計数量					13				14				3

名板仕様



【規格・仕様】 アルミ軽合金 150×200×10mm
地色黒色焼付 縁および文字 白銀浮出し仕上げ

Google 高田地区建設発生土処分経路図



画像 ©2025 Airbus、Maxar Technologies、地図データ ©2025 20 m

距離を測定
合計距離: 127.03 m (416.78 フィート)